

再生

入浴の際、乳から上の上半身を、お湯から出していること。
お湯は多少熱めがよく、乳から上を濡らさないで、汗ばむ程
度までじっと全身を温めるのです。（半身入浴法）

森信三先生一語千鈞より



山又

山又

父親 人間学 入門

森 信三先生 講述

実践人福岡仁風読書会 第一〇四回 3月15日(土)
場所：仁風庵

―父として・人間として―

十四 地位と名声

人間と欲望

さて前数章にわたって、家庭ならびに家族の問題についてのあらましを述べてきたわけですが、この辺で少しく方向をかえて、ひとりの人間としての生き方に焦点をしばつてみたいと思います。それには、それに先だつて人間というものの実像を探つて見る必要があると思います。「人間は欲の塊り」と俗に言われている通りに、お互い人間は、無量の欲求をもつて生きているわけですが、これは自己保存や種族保存の本能に根ざすもので、その意味からは人間社会も一種の生存競争の世界だとも言えましよう。

今かりに、それら無限の欲望の一端を列挙してみますと、食欲・性欲・睡眠欲などを基本として、さらに人なみ優れた衣・食・住を希い、また他面には名声欲・財産欲・知能欲・権力欲を免れぬのが、お互い人間というものであります。そしてこれらの欲望の根底に、先にも申したように、自己保存の本能という根づよい巨大な本能が横たわっているわけであります。性欲というものも、ある意味では神のしかけた一種のトリックともいえるわけで、マクロコスモの立場からは種族保存の本能によるものといえましよう。

さて、この自己保存の本能からして、それは消極的には自己防衛本能となり、また積極的には、自己顕示欲ともなりますが、いずれにしてもその奥にある優勢勝他の本能の根深さは、はかり知れないものがあります。仏教では、根本的煩惱として三毒、すなわちむさぼり(貪)・いかり(瞋)・おろかしさ(痴)をあげておりますが、この根源は一にかかつてこの自己保存の本能から発する、自己防衛や優勢勝他の本能に発すると言えましよう。

今、われわれの煩惱の一つとしての嫉妬を例にとつてみましても、嫉妬とは、同業や同種の世界において自己の存立がおびやかされる不安感から発するものであつて、決して女性間のみに限ったことではないのであります。男性においては、女性間のように露骨ではないにしても、そうした立場に立たされたとき、内心において嫉妬の情の動きの感じられない人は、ほとんど絶無と申してもよいかと思われます。

三種のタイプ 随つて、たとえば同期に大学を出て、教職についた者の中で、誰がいちばん先に校長になるかということなども、たいへん気になるわけで、こうした校長職への先陣争いに暗黙裡の葛藤がくり展げられていると見てもよいでしょう。その他いづれの職域におきましても、平社員より係長へ、係長から課長へ、課長から部長へと地位獲得の願いは、人間として一おうムリからぬ希いと言えましよう。なおまたこれに拍車をかけて、奥さん方の内には主人の尻を叩くものもあり、妻の願望にこたえて出世街道に意欲をもやすというケースも間々あることでありましよう。ともかくもサラリーマンにとつては地位の向上は、昇給にもつながることであり、それに意欲的になるのも当然のことと言えましよう。ところで地位の向上は、会社企業への貢献度によるが、そのまた期待度によるもので、その人のもてる実力は申すに及ばず、勤続年数や勤務状況その他の条件を加味して決定されるものと思われますが、サラリーマンの中にも大別して三種類あるといえましよう。すなわち、トップの、エリートコースを行く人、平均的に上がつてきた人、立ち遅れている人の三種類であります。

ところがこれも一種のマラソン競争で、トップクラスにおったものでも、脱落する

人もあり、また途中から俄然フアイトを燃やして、トップクラスに躍り出るものもあることは周知の通りでありましょう。それから見方をかえて、次のような三種のわけ方も考えられましょう。すなわち、当人の地位が実力を上まわっている人、地位と実力が相応している人、地位が実力より下回る人、という三つの型があります。それぞれ自分がいかなる種類に属しているかを考えて、お互いにおごらず・くさらず・やすむことなく歩みつづける他ないわけです。なお人間には個性という色いろなタイプがあつて、人心掌握型といわばトップに適するタイプもあれば、技能発揮型といつて、トップには向かないが、特技においては他の追随を許さぬ人もあり、また新規開拓型という勇ましい攻撃方のタイプもあるわけで、そこがなかなか面白いのであつたて、いずれにしてもそれぞれの天分の發揮に全力を傾注する外なく、そこに人間としての眞の生き方がありましょう。

ただ憐むべきは、不平不満のブツブツ組であつて、仕事に特別の意欲も示さず、さりとて退きもせず、寄るとさわると上役への不平不満に明けくれるタイプでありましょう。

人間の眞価　ところで、ふりかえつて、人間の眞価というものは、地位や名声だけでは、推し計れないものがあるわけです。何しろ世の中には満天の星空のごとく、リッパな人が沢山いられるというのが、わたくしの最近のいつわざる心境であります、全く驚く他ない気がいたします。のみならず少なくともある一点に関しては、何人もわたくしなどのはるかに及びがたいものを、人それぞれに持つておられるわけでありまして、そういう面から申しまして、人間の眞価というものは、肩書などでは容易におしはかれるものではないという思いを、この年齢になつてしみじみと痛感するのであります。それどころか、テレビや新聞などマスコミで有名になつて、虚名を博することが如何にコワイことであるかを、これまたしみじみと思うのであります。

無機化学の世界的研究者であられた隠岐の永海佐一郎博士のおコトですが、人間の眞価Ⅱ仕事への熱心度×心のキレイさという定式を打ち出されまし

たが、人間の眞のネウチというものは、(一)その人がどれだけ自分の仕事に忠実であるかという事と、もうひとつは(二)心のキレイさにあると申されるのであります。したがつて、こうした観点から申しますと、自分の職務に対して不十分な大臣より、職務に忠実な小学校の用務員さんのほうが、人間の眞のネウチは上位にあるというお考えなのであります。これは生前の永海先生のご生涯を知るわたくしにとりましては、まことに明白な断案として大いにうなづけますし、全くその通りと思うのであります。ところが、わたくしなどにとつて「心のキレイさ」ということは到底及びもつきませんので、せめて「心の暖かさ」でもして頂けたらと思うのであります。

と申しますのも「心のキレイさ」というのは、根本的には「無私」の人という事でしょう。そして「無私」とは、實際問題としては「報いを求めない心」であり、すなわち「無償の行」のできる人ということでありまして。ところがこれは、わたくしのような人間には、実に容易ならぬことでありますので、基準を一段か半段さげて「キレイな心」の代りに「暖かい心」ということにして頂けば、何かとカツカツ合格線すれすれの線まで近づけようかと思うのであります。

天は至公至平　少し話が脇道にそれたキラ伊がありますが、われわれ人間にとつて「報いを求めぬ」という心や行いというものは、なかなか出来難いことであります。人間としては心のどこかに、「報いを求める」心が程度の差こそあれ兆すものであります。これが人間の実相でありまして、これが公平・不満の種となり、はては世を嘆じ、天を呪うことさえありうるのであります。ここに、原始仏教以来説かれた「因果応報」の天理が疑われ、はては完全に否定されがちになるのであります。が、わたくしの生涯をかえりみて痛感するのは、俗言ではあります「天知る地知るわれ知る」ということでありまして、長い眼で見ますと、天は実に至公至平であり、永い眼で見ますと世の中というものは実に、正直そのものであると思わざるを得ないのであります。

第一章 掃除が奇跡を起す

なぜ、トイレ掃除なのか？ 五つの効用

私が、「なぜトイレ掃除か」ということについて考えていることは、五つあります。これは「日本を美しくする会」「掃除に学ぶ会」でも使われ、心にとめておいてもらっています。その五つの効用をご紹介します。

① 謙虚な人になれる

どんなに才能があっても、傲慢な人は人を幸せにすることはできない。人間の第一条件は、まず謙虚であること。謙虚になるための確実で一番の近道が、トイレ掃除です。

トイレ掃除は人のいやがる仕事です。「臭い」「汚い」と最初は抵抗があるのは自然な反応でしょう。謙虚だからトイレ掃除をするのではなく、トイレ掃除をするから謙虚な気持ちになるのです。抵抗があるなか、思いきってトイレ掃除を始めみると、だんだん「この場をきれいにしたい」という気持ちが生まれてきます。その気持ちが自然に「汚れた場所を、使う人のためにきれいにさせていただく」という謙虚な気持ちにつながるのです。

また文字通り身を低くして掃除をすることで、下からものを見ることのできるようになります。いつも上から見ているものを下から見るとまったく違って見える。それまでは「汚くていやだ」と思っていたトイレを磨く立場となつて、使う人のことを考えることができ

ます。きれいに使ってくれる人には心から「ありがとう」と思えるようになる。

相手が変わらなくても、自分が変わることによつて、自分と相手の関係性を変えることができます。そのうち自分が変わった分だけ、相手も変わつてくるものです。

② 気づく人になれる

世の中で成果をあげる人とそうでない人の差は、無駄があるか、ないか。無駄をなくすためには、気づく人になることが大切。気づく人になることによつて、無駄がなくなる。その「気づき」をもつとも引き出してくれるのがトイレ掃除です。

トイレ掃除を始めると、見えないところの汚れが気になってきます。見えているところだけきれいにすればいい、というのではなく、「どこかほかに汚れているところはないか」「詰りの原因になっているところはないか」と、自分が見えていない汚れを探し始めるようになるのです。同じことが心の中にも起こってきます。

そして他人に対しても「何か困っていることはないか」「どうしてあげたらこの人が喜んでくれるのか」という気配りができるようになります。また、トイレ掃除をしていると、「この汚れはもつときれいになるのではないか」「こうしたらもつと効率よくできるようにならないか」と、工夫したり改善したりしようとします。それは人間がもつ根源的な欲求であり、「自分をよくしたい」という向上心となつていくのです。

日本一きれいな博多駅・福岡の街に！

第 376 回

博多駅 早朝清掃

毎月 **8** 日 午前6時15分～

【第一回】平成5年12月8日開催

福岡実践人・JR九州博多駅
精華女子高等学校・福岡掃除に学ぶ会

 **ハウスマイト**



第376回 博多駅早朝清掃 32年目

3月8日(水曜日)

45名参加



博多駅早朝清掃が376回目、一年間「博多駅早朝清掃」の司会進行役として明るく元気な雰囲気を出してくれた、精華女子高等学校の四人組が今回で卒業となりました。一年間有難うございました。このような善き手本を後輩達にも受け継いでほしいと先月は、教頭室で2年生への引継ぎも行いました。「クサエモン！卒業しても遊びに行くからね」と嬉しい言葉をくれました。副駅長から卒業記念を手渡されてご満悦の笑顔が素敵です。次のステージは大学生頑張ってね！！ 世話人：けさえもん 拝



利会長より卒業祝い記念品 📄



博多駅副駅長より挨拶

2025/03/08



精華女子高の教頭先生の挨拶

2025/03/08



利会長より挨拶

2025/03/08



博多駅に新たなパワー

2025/03/08



今月で高校生最後の参加

2025/03/08



毎回のお世話ありがとうございます

パワー

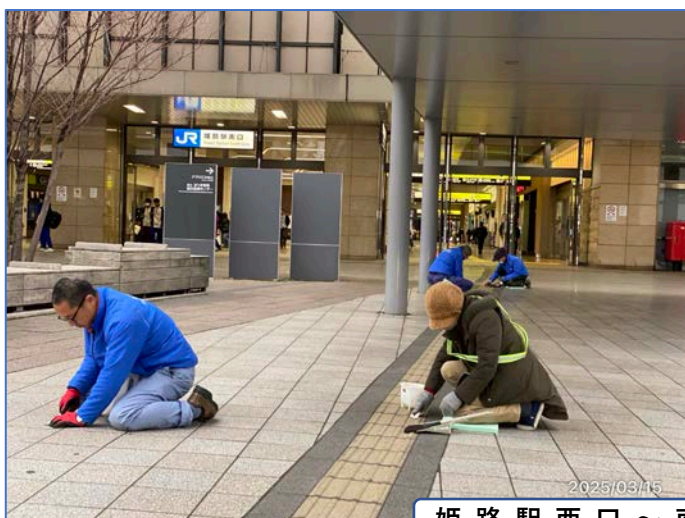
2025.3.15 於：姫路を美しくする会



姫路城：とても美しい特に朝は



J R 姫 路 駅 （ 北 口 ）



姫 路 駅 西 口 ～ 南 口 の ガ ム は が し



姫路を美しくする会の渡邊先生にお会いさせていただくために新幹線で姫路駅で下車しました。前泊して姫路城を周遊しながらひとりごみ（夢）拾い。姫路城の一周コースは緑が多く夜明け前に浮かび上がる白鷺城の美しさは格別でした。姫路駅は博多駅と新幹線繋がりのご縁の深い駅ですのでまた参加させていただきます。学校の先生方の参加が殆んどで、子どもさん連れが印象的でした。 感謝！ けさえもん 拝

2025.3.16 於：戒壇院作務に学ぶ会



雨の戒壇院作務に学ぶ会は石畳磨きをさせていただきます



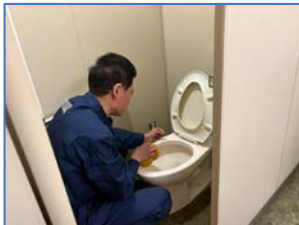
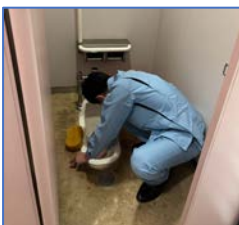
戒壇院ご住職の重要な片腕で、戒壇院の庭園の美しさを保たれている神職たる存在の「道祐禅師」が4月より修業の道に入られますので、その間の庭園管理をの一部を作務の会で担うことになります。

道祐禅師の御心のままには行き届かないとは思いますが、精いっぱい気持ちを込めて手入れさせていただきたいと思ひます。
戒壇院作務に学ぶ会一同

2025.3.19 於：国会掃除に学ぶ会



現職国会議員(17名)の先生方と議員会館のトイレ掃除をさせていただきました。



～古き良き時代の日本再生～

とんぼろ

Instagram



@RAKUNQUJIN1962

＝ ＝ ＝ 心を耕し、生を拓く ＝ ＝ ＝

にんぎょ



とんぼろ掃除に学ぶ会／薩摩川内市 in長目の浜

第26回 長目の浜海岸清掃 《楽農人／とんぼろ海掃隊》



後援

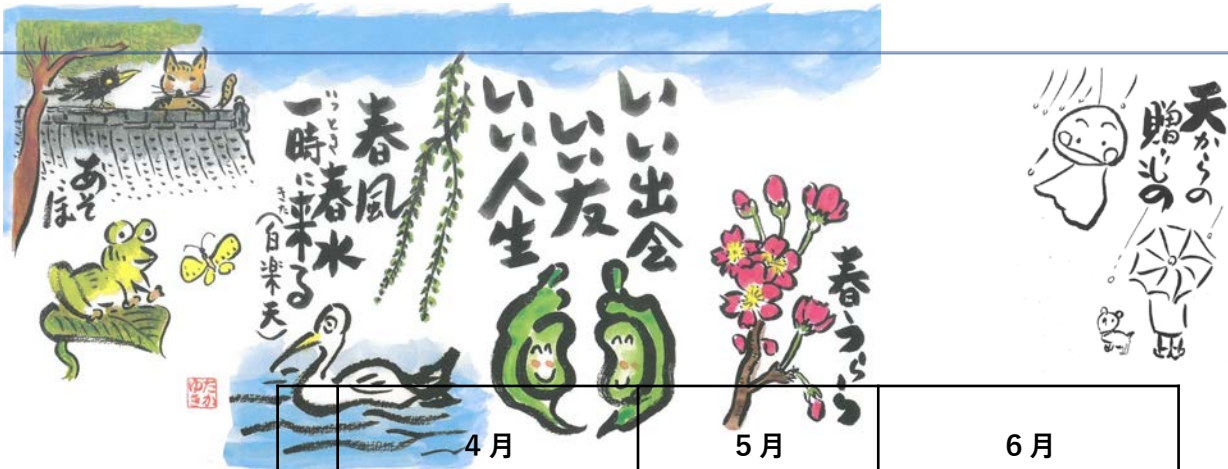


大きな疑問が 解けました！

ひとり海岸清掃を始めて30年、とんぼろ掃除に学ぶ会を設立(2023.2.18)して同志道友の支援で長目の浜海岸清掃を始めて、26回目になりました。

昨年6月より薩摩川内市甑島振興局と協議をスタートしてこの3月18日、薩摩川内市環境局が長目の浜の漂着ごみについて当局の見解と方向性が示されました。長年の大きな疑問が解けた瞬間です。この漂着ごみの消滅に向けた第一歩スタートです。





4 月						5 月				6 月				
日	5	8	19	20	26	5	8	17	18	1	8	15	17	
曜	土	火	土	日		月	木	土	日	日	日	日	火	
行事活動名	長目の浜海岸清掃 第27回 年次大会	博多駅早朝清掃 第377回	福岡空港ミリオン清掃83回 夢拾い	戒壇院早朝作務 第23回		長目の浜海岸清掃 第28回	博多駅早朝清掃 第378回	福岡空港ミリオン清掃84回 夢拾い	戒壇院早朝作務 第24回	長目の浜海岸清掃 第29回	博多駅早朝清掃 第379回	戒壇院早朝作務 第24回	福岡空港ミリオン清掃85回 夢拾い	
場 所	鹿児島県薩摩川内市	博多駅博多口	福岡空港周辺	太宰府市戒壇院境内		鹿児島県薩摩川内市	博多駅博多口	福岡空港周辺	太宰府市戒壇院境内	鹿児島県薩摩川内市	博多駅博多口	太宰府市戒壇院境内	福岡空港周辺	
開始時刻	6時30分	6時15分		6時30分		6時30分	6時15分		6時30分	6時30分	6時15分	6時30分		
運営団体	楽農人 とんぼろ海掃除隊	福岡掃除に学ぶ会	福岡掃除に学ぶ会	太宰府作務に学ぶ会	NPO法人楽農人	楽農人 とんぼろ海掃除隊	福岡掃除に学ぶ会	福岡掃除に学ぶ会	太宰府作務に学ぶ会	楽農人 とんぼろ海掃除隊	福岡掃除に学ぶ会	太宰府作務に学ぶ会	福岡掃除に学ぶ会	

上記行事予定表は、富吉の参加予定の行事を掲載させていただいています。
その他、活動しているお掃除実践もごございますので、事務局にお問い合わせください。

発行人(編集人)富吉 製装右衛門

◇NPO法人福岡実践人 福岡掃除に学ぶ会

Lineグループ運営:福岡清爽クラブ

◇福岡仁風読書会

◇NPO法人楽農人 とんぼろ掃除に学ぶ会

〈合同事務局〉〒811-2247

福岡県糟屋郡志免町向ヶ丘2丁目4番3号 《仁風庵》

TEL 092-931-8155 FAX 092-931-8120

E-mail fukusoukai@souji.link (掃除)

こしき仁風庵:鹿児島県薩摩川内市里町里90番地



@F_JISSENJIN



「再生」に掲載している写真は、富吉が撮影・管理しています。必要な方は事務局までご連絡ください。